

みんなの力で「福島を元気に」

東日本大震災から14年以上が経過しました。この間、県の建築分野での様々な復旧・復興に向けた取組の業績が認められ、2021年日本建築学会賞を受賞しました。これに満足することなく引き続き、復興の推進とその先の県土の発展に向けた様々な施策を展開してまいります。

近年の建築・住宅行政を取り巻く話題としては、住宅セーフティネット機能の充実、2050年カーボンニュートラルに向けた省エネ・再エネの導入、既存建築物の耐震対策、木造化・木質化、景観やユニバーサルデザインへの配慮、BIMをはじめとしたICT技術の活用など、私たち建築技術職に対する社会的要請がますます高まっておりますが、新たな取組や困難な課題にも柔軟な思考で積極果敢に挑戦することとしております。

まちづくりの分野では、過疎中山間地域における定住人口の維持、観光による流入人口の増大等に向け、街並み景観の保全・向上や空き家の利活用を促進する事業を展開しております。

また、市町村における都市全体のコンパクトなまちづくりを進めるマスタープランのもと、多様な都市機能が集積したコンパクトなまちづくりを目指しています。

このような中で、私たちと一緒に県民が故郷に誇りと愛着を持ち、豊かさや幸せを実感することができる住環境や持続可能なまちづくり、地域に根差した魅力ある公共建築整備に携わってみませんか？

民間企業では経験し難い広大なフィールドが皆様を待っています！！

福島県土木部次長（建築担当） 渡邊 佳文

